

広島女学院大学の国際英語学科に合格しました。私は元々英語が苦手で、二年前までの私なら絶対に選んでないくらい英語ができませんでした。一年生の時、放課後に英語の補習が週に一回ありました。できないので退屈になるだろうと思っていたら、先生に私は英語ができる様になるといわれました。うれしくて帰ってから毎日補習のプリントを何回も解き直しました。今まで見てこなかった解説を何度も読みました。最初は毎日勉強しても全然できなかったけど、冬休み明けに先生から点が上がったと褒めてもらいました。沢山努力したのが伝わると言ってもらえ、もっと頑張りたいと思いました。英検もとることができました。補習のプリントとは別の課題にも取り組みました。とにかく暗記にならない様気を付け、リスニングの勉強にも取り組み学校から帰って毎日2時間英語の勉強に費やしました。するといつの間にか嫌いだと思っていた英語がもっと勉強したい、できるようになりたいと思える様になりました。私は英語を勉強するうえで大切なのは、単語をひたすら覚えることではなく、文の構造と品詞だと気づきました。前の品詞が分かれば次に来る品詞が分かり単語が書けます。これらを暗記ではなく知識で解けた時、とてもうれしいし、楽しいです。ですが、私はリスニングが苦手何度やっても間違えたり、聞き取れなかったりします。そして話すことにも慣れていません。それでも英語を学びたくてそれを面接で言いました。

英語科は英語ができる人しか入ってはいけないものと思っていたので、合格することができ、すこしびっくりしています。大学に入ったら、リスニングや話すことを重点的に勉強していき、会話ができる様になりたいと思っています。面接では、できることしか言っただけで、いけないイメージだったけど、正直に話した上での合格は頑張りがいがあり、今からとても楽しみです。これからも英語を勉強し続けたいです。